

平成29年度室小学校研究テーマ

## 確かな学力を支える読解力の育成

### 町研究主任会の報道

8月23日(水)

徳淵

8月22日(火)に町の研究主任会が開かれ、以下の2点についての検討がありました。

#### ① 町の共通実践事項の進捗状況

##### 大津町小中学校全体で実践する内容

(1)話し手に体を向けて聞く (2)「めあて」と「まとめ」の明示 (3)家庭学習の習慣化

(1)については、日頃から取り組まれていると思います。私は、型としての指導と併せて、「なぜ聞き手を見るのか」ということも子どもたちに適宜話をしています。「意味の伴ったものになったときに、真に習慣化したといえる」という思いで繰り返し取り組んでいます。

(2)については、小研等でも確実に「めあて」と「まとめ」の提示がなされていました。国語科では、問いとしての「めあて」、答えとしての「まとめ」の例が示されています。読む単元において、ぜひ実践されてください。

他校の実態の中で、「めあて」と「まとめ」の提示について教員と児童生徒の認識の違いが課題に挙げられました。教員は「めあて」「まとめ」を提示しているが、児童生徒にとって、一時間を的確にふり返る「めあて」「まとめ」の提示になり得ていないことが実態調査から見てきたそうです。わたしたちの「めあて」「まとめ」はどうでしょうか。

(3)については、日常活動部会で家庭学習の手引きが出されました。子どもたちへの徹底と同時に、通信等でのくり返しの啓発を行っていきましょう。あまり学級通信を出せていない私こそ粘り強く頑張ります…

#### ② 県学力調査に向けた共通した取組

町全体では9月からの課題克服プリントの活用が挙げられました。12月に県学力調査が予定されています。授業の適用題での活用が理想的ですが、かなり厳しいです。例えば…

- 単元の途中や終末時期に家庭学習の課題として、月曜や金曜の朝自習で解説を行う
- 単元テストと一緒にを行う

他にもあると思いますが、11月後半から集中的にやるよりも、長い時間をかけて行う方が解説も丁寧に行え、子どもたちの学びにつながると同時に、私たちの授業改善にもつながると思います。学年での計画的な活用をお願いします。